



R06.02.14 / 袋井市教育会館 大会議室
光・電子技術活用セミナー「農家のための実践スマート農業の進め方」ワークショップ

ふくろい産業
イノベーション
センター

ふくろい産業イノベーションセンター ニュースレター Vol.31

発行日：令和6年2月16日（金）

発行者：ふくろい産業イノベーションセンター事務局

光・電子技術活用セミナー「スマート農業」 (2日目)開催～様々な視点から現場の課題解決を考える～

2月7日に引き続き、光・電子技術を活用した産業支援に取り組む「公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構 フォトンバレーセンター」との共催で、ワークショップ「光・電子技術で課題解決を体験しよう」（「光・電子技術活用セミナー2日目」）を開催。

当日は、農業者をはじめ、光・電子技術の専門家や行政など、約30人が参加。農業者の課題発掘・深掘り・解決方法について議論を重ね、意見を取りまとめて発表を行いました。

各グループからは、「人材不足」「価格形成」等の課題解決に向けて、「農業のスマート化」をどのように進めていくべきか、様々な意見が出されたほか、ファシリテーターを担当いただいた(株)TAKシステムイニシアティブの瀧口 義浩代表取締役（光産業創成大学院大学 客員教員・前学長）からは、「本日の議論を起点に、農業者だけでなく、行政や大学、専門機関等が輪を広げて関係を深め、協力して解決に取り組んでいければ。」と話がありました。

光・電子技術活用セミナー

光・電子技術で未来を拓く2日間

農家のための 実践スマート農業の 進め方

会場

袋井市教育会館

4階 大会議室

袋井市新屋 1-2-1

 参加費
無料

農林水産省より「農業 DX 構想」が発表されて3年。スマート農業を支える技術開発が進められていますが、何から始めれば良いのでしょうか。今、農家に求められる未来ビジョンとは何か、現場目線の改善に必要な視点は何か。本セミナーではワークショップ（農業者対象）も開催して、スマート農業の進め方を実体験できる2日間の特別カリキュラムをお届けします。

ワークショップ | 農業者対象

 定員
20名

2/14 水

◎ 18:00-20:40 (17:30開場)

ワークショップ

18:00-20:40

光・電子技術で課題解決を体験しよう

DX技術ありきではなく、現場の課題から問題を探り、解決案の検討、発表までを行います。農業従事者だけでなく、農業の専門家や光電子技術の専門家による様々な視点からアイデア、意見を出し合うことで、スマート農業の一步を実体験します。何から始めればよいかと悩んでいる農家の方、ぜひご参加ください。

ファシリテーター

瀧口 義浩 氏



ファシリテーター

 (株)TAKシステム
イニシアティブ

瀧口 義浩

代表取締役

 (光産業創成大学院大学
客員教員・前学長)


主催


 公益財団法人
浜松地域イノベーション推進機構
Hemetsu Agency for Innovation

共催

袋井市 / ふくろい産業イノベーションセンター / 袋井市農業振興会

後援

袋井商工会議所 / 浅羽町商工会

 お問い合わせ・相談窓口 **ふくろい産業イノベーションセンター**

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2 (静岡理工科大学 やらまいか創造工学センター3階)
TEL:0538-45-0136 (直通) / FAX:0538-45-0110 / E-mail:shakai@sist.ac.jp